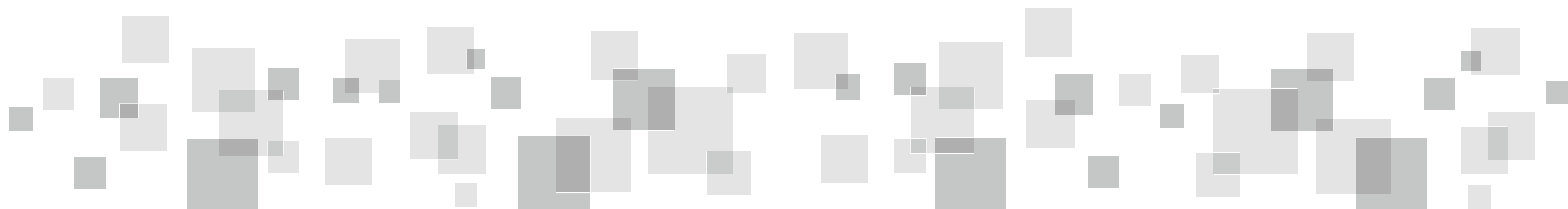


【UiPath Friends】 2025/4/18 LT Session チェンジマネジメント

かねごん



自己紹介

自己紹介



金子 哲也 船橋市在住

前職の上司に胡蝶蘭を送った
ときの図。胡蝶蘭高すぎ！

- 2020年1月から現職。
- 前職はITコンサルタント。ITインフラ系プロジェクトの推進管理、アウトソーシングに関わるコンサルティングを専門領域としていた。
- 現在は社内IT部門の管理者として、UiPathを利用した業務効率化の推進責任者。・・・ですが、まだまだアピールが弱い状況。今後の活躍に期待 ✨

- 休日の過ごし方
猫の下僕、テニス、お酒

- 好きなお酒
ビール、ストロングなレモンサワー



- 好きな食べもの
納豆、とんかつ、から揚げ、自作の謎のおつまみ

- 好きな猫
ぽんず、おにく、ちくわ

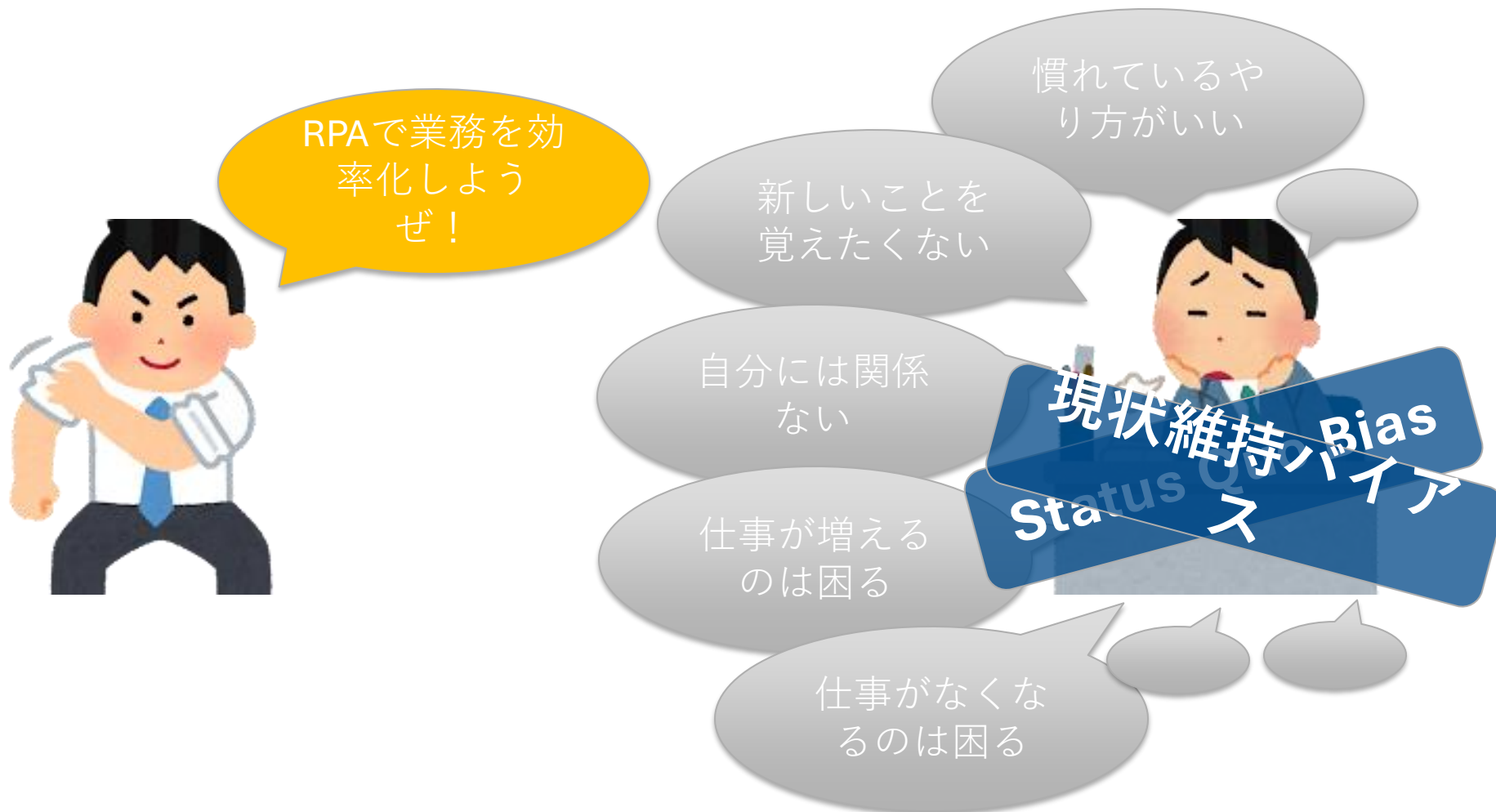


ちくわによる
犯行

本日の

テーマ

こんな状況になっていませんか？



打開

するための

チェンジ
マネジメント

ってなに？

チェンジマネジメントとは？

チェンジマネジメントとは、組織が『現状』から『目指す姿』へ移行し、期待する成果を得るための変革推進手法です。体系的なアプローチを通じて、変化・変革による混乱や変化・変革への抵抗を最小限に抑え、変化・変革の影響を受ける人々が、いち早く新しい状態に適応できるように支援します。

何と言っているか、わからない

-日本チェンジマネジメント協会 <https://change-management-japan.org/whatischangemanagement/>

内発的動機付け

- 面白さ
- やりがい

外発的動機付け

- 報酬
- 罰則
- 道具

新しい仕組みが円滑に導入されるように、適応を促進し、スムーズに活用できるよう支援するプロセス。

これにより、組織全体で新しい仕組みを有効に活用できるようになり、ROI（投資対効果）を最大化することができます。

ADKARモデル

- 組織変革を個人の変革の観点から捉え、変革のプロセスを5つのステップで表現したモデルです。変革の抵抗勢力を最小化し、組織が望ましい変化に移行することを目的として

ADKAR | Management Model



ステップの詳細と具体的な手法

- 単なる「教育」や「押し付け」ではなく、現場の声を聴き、現場の不安に共感しながら、段階的かつ双方向的に変化を進めることが重要です。

ステップ	Awareness -認知	Desire -欲求	Knowledge -知識	Ability -能力	Reinforcement -強化
ゴール	変革の必要性を理解する	変革に参加し、変革を支えたいという意欲をもつ	変革の方法に関する知識を持つ	新しいやり方を実行するスキルが備わる	変化を持続するための強化策があること
不安なポイント	- 変える必要がわからない - 現状で問題がないのに、なぜ変えるのか - 現状の課題や非効率の「見える化」（作業時間、ミス率など）	- 自分には関係ない - 変化によって業務負担が増えるのではないか - 現場メリットの提示（作業時間の削減など）	- 操作が難しい - 習得のための時間を取れない - 短時間で学べるマイクロラーニング 「役割別」「業務シナリオ別」の簡易マニュアル - いつでも相談できるサポートチャネル - 段階的な導入	- 実際の業務で使いこなせるか不安 - 使い間違えてミスするのではないかな - QIT形式での実践サポート 「一歩」だけでも成功体験をさせる - 操作ミスにのセーフティネット設計 - ピアサポート体制（社内ツールアンバサダー制度）	- 使い続ける意義を感じられない - 以前のツールの方が良い - 定期的なフィードバック収集と改善 - 成功体験・成果の可視化（業務改善レポートなど） - 習熟度に応じた表彰・インセンティブ - 旧ツールの廃止スケジュールの周知
どうすればよいか	- 経営層・部門長からのメッセージ発信 - 業界全体のトレンドと比較しての危機感の共有	- 現場代表者を巻き込んだ共創型の進め方 - 成功事例の共有 - 懸念を吐き出す意見交換会や1on1			

一気に円満に進めるような魔法のプロセスはない！

さらに、

個人的に感
じる重要ポ
イント 3点

変化のための提言 3 点

トップは
血を流すべし！

- ・ 痛みを伴わない変化はない。まずはトップが身を挺して変化すること。
- ・ トップが変わらねば組織は変わらない。

少しでも
仲間を増やせ！

- ・ 共感・伴走してくれる仲間を少しずつでも集めて進めること。
- ・ 単独・ワンマンでは変化は進まない。

エースは狙うな
コツコツつな
げ！

- ・ ステップバイステップで、着実にゆっくり進めること。
- ・ 成功体験無しに人は変わらない。

以上

本日はありがとうございました。



次回は猫の話でお願い